

公益社団法人日本山岳会 石川支部報



2 0 1 9 年度(令和元年度) 峯 第 4 号 第 33 号(復活通巻) 2020 年 3 月 31 日発行

I. 計画山行・個人山行 報告

1. 令和元年度 五支部合同スキー山行 旧中宮スキー場 (1,024m ピーク)

日時 : 令和 2 年(2020 年)2 月 15 日(土)、16 日(日)

担当支部: 石川支部

宿泊場所: 吉野谷セミナーハウス

参加者 : 石川支部 樽矢 堀 大幡 大庭 埴崎 田井 織田 16日池本 計8名 全参加者 28名

15 日午後 2 時半にセミナーハウスへ支部員集合、会場準備を行う。

あいにく、向かいの中宮温泉センターが設備故障で閉鎖中となっている、どうも昨日故障し15日に業者修理に来たが、修理できなくて閉館となったらしい。

このところ暖かい日が続き、今回のスキー登山の目標地である 旧中宮スキー場もほとんど雪が消えている

本日15日は天候も良く、さらに雪が消えそうである。

16 時ごろより、各支部参加者が到着、温泉センターが閉館であるのを伝えて、10分ほど下った温泉センターへお願いする

18 時より夕食懇親会1部が始まる、石川支部樽矢支部長から「雪が無くて残念である、にも拘わらず多くの参加者に感謝する」と挨拶の後、各支部よりの頂いた名酒の紹介をさせて頂く。

乾杯は来年度の幹事支部である福井支部、森田支部長にて乾杯 音頭を頂き、懇親会がスタートする。

豪華な会席料理などではないが、石川支部員の手配などにより、 おでん、白峰の堅豆腐、油揚げなど、また、各支部よりの持ち寄 りの各地の名酒にて大いに盛り上がる。

午後8時よりいったん中締め後、懇親会2部へ、こちらは石川 支部織田会員の自家製スルメなどでまたまた持ち上がり明日の 事もあり午後10時過ぎには解散となる。

16日 予報通り朝から雨、7時よりの朝食時に今後の天候状態を考慮して、残念ながらスキー登山は中止とした。

遠方から参加された会員には感謝するとともに、雪がなく残念なスキー集会になった事をお詫びいたします。

「文・写真: 樽矢]



2. 奥医王山(939m)

日時 : 令和 2 年 2 月 11 日 (火) 晴れ コース : 見上山荘から奥医王山経由菱池小原

メンバー: 織田 1名

今年は例年になく暖冬で雪が降らず、山に行く気がしなかったが、久しぶりの降雪と晴天だったのでかんじきを持って今シーズン初めての山行です。

見上山荘の道路横の駐車場は、祝日と好天のために既に満車だったので、下山予定の菱池小原に車を置いて歩き返そうかと思ったが、そこに下りないことも考えて駐車場の端の道路に停めた。

林道には車は積雪で入れないが、トレースがしっかりついていて歩き易い。途中後発の単独行2人に追い越される。

今まで若い人には追い越されたことがあるけど、今回追い越されたのは、私よりも年配の人だったので自分の老いを否応なく気付かされた。 〈西尾平〉



西尾平で小休憩し、しらが首まで林道を歩きそこから前山に登る。 登山道も先行者が多くトレースがしっかりついていてかんじき無しでも快適に登れた。 白兀山の山頂で少し休んで夕霧峠まで行くが雪が少ないので、木の枝が邪魔になり歩きにくい。

タ霧峠からは奥医王に登る人は少なくつぼ足では落ち込むの でかんじきをつけて登った。

奥医王山頂から菱池小原に下りる道にはトレースがないので、 ラッセルは下りでさほど苦にならないが、木の枝が邪魔をして 歩きにくいから下るかどうか迷う。 〈奥医王山山頂〉



ゆっくりと昼食をとっていると、次々と登山者が来るので菱 池小原に下りますかと聞いても皆さん引き返すと言う。 その うち連絡もしてないのに弟子の山下君が一人で登ってきた。

しかし山下君は夕霧峠にスキーを置いてきてあるので一緒に下りられないという。 二人で話をしていると3人若い人のグループがやってきて菱池小原に下ると言うので、先に行ってもらった。 トレースを辿りグループについていったが、そのグループは直ぐに道を誤り違うところを下りていたので、声を掛けてラッセルしながら菱池小原まで下りて行くと、山下君が下山口に車で来て待っていてくれた。超ラッキー。

今回は、天気が良く新雪だったので久し振りの雪山を楽しめた。雪が少なく夏道を歩かざるを得なかったが、枝が邪魔をして快適とは言えなかった。

コースタイム

見上山荘9:27西尾平10:25白兀山11:20

夕霧峠 12:20

奥医王山 12:51~14:00

菱池小原 16:00

[文・写真:織田]

3. 奥獅子吼山(928m)

日時 : 令和2年2月19日(水) 晴れのち曇り

コース : ゴンドラ駐車場から奥獅子吼山往復

メンバー: 織田 1名

前々日の夜に金沢でも雪が降り15cm位積もったので、チャンスと思い急遽奥獅子吼山に行って来た。

ゴンドラは動いておらず、駐車場には登山者のものとみられる車が数台あるだけである。

今回も家の用事を済ませてから来たので、駐車場に着いたのが 9 時半過ぎだった。

登山道は、トレースがしっかりついていて歩き易い。 杉林の中で60過ぎの女性の2人組に追い抜かれてしまった。 医王山でもそうであったが、自分の体力が落ちてきていることを思い知らされた。 〈月惜峠〉



月惜峠を越えて夏道を歩いて犀鶴林道の峠まで行くが、先行者のラッセルのおかげでかんじきをはかずに行けた。 途中で犀鶴林道まで行って帰る人に何人かであった。 中にはかんじきも持たず、ジーパンをはいてショートブーツの人もいた。 ジーパンは濡れてブーツの中もスパッツをしていないので雪だらけだった。

なんでそんな恰好で来るのか信じられない。

〈犀鶴林道〉



犀鶴林道からは、先行者も少なくつぼ足では落ち込むので、かんじきを履いた。 しばらく行くと中高年の男女 3 人が下りてきたが、今日は時間がないので途中で引き返してきたとのこと。 林道と頂上の中間点位まで行くと、杉林で追い越された2人に追いつたが、道に迷ったと辺りをぐるぐるしていた。

雪が少ない為に夏道を歩かざるを得ないが、木の枝が邪魔に なり道を見失うこともある。 この2人がトップだと言う。 私が先導して道を探しラッセルをして進む。 2人はスノーシューを履いていて楽についてくる。 最後の登りの所でラッセルを変わってもらった。

この2人がトップだと言う。 私が先導して道を探しラッセルをして進む。 2人はスノーシューを履いていて楽についてくる。 最後の登りの所でラッセルを変わってもらった。

頂上は雪が少なく、なんと木のベンチが出ていた。

〈奥獅子吼山 山頂〉



ベンチで遅い昼食をとっていると、中高年の男性が1人登ってきた。 空が曇ってきて眺望も悪いので、ゆっくりせずに下山した。 平らな所では、スノーシューはかんじきと比べ落ち込みようが少ないので、ラッセルが楽である。 私もどこかに安くて良いスノーシューがないか探してみよう。

コースタイム	登り	下り
ゴンドラ駐車場	9:35	16:20
月惜峠	10:45	15:50
犀鶴林道峠	11:41	15:16
奥獅子吼山	13:36	$\langle \cdot \rangle$
	14:01	

[文・写真:織田]

3. 鷲走ヶ岳(1,062m)

日時 : 令和2年2月21日(金) 晴れ

コース : 小倉谷から林道東二口線に上り林道を林道鷲走線の分岐まで、そこから登山道を頂上迄

メンバー: 織田 1名

2日前に奥獅子吼山に行った時に、今日は快晴になるとの天気 予報だったので、雪のあるうちに取立山に行こうと思った。

弟子の山下君を誘ったら福井の友人と鷲走ヶ岳にスキーを持って登ると言ったので、私も行くことにした。

山下君は、朝8時には小倉谷から登り始めるといっていたので、先に行ってもらうことにした。 私は通常の登山道から登ろうと思っていたが、多分登山者がいなくてラッセルを強いられることと、いつもと違う道から行ってみたいと思い山下君の後を追うことにした。

山下君達の車は、東二口第2隧道の手前に駐車してあったのでそこに車を停めて、踏み後を追った。

小倉谷に入ってすぐ右側の斜面を登り林道に出たが、斜面が 急なためにてこずった。 東二口の集落から林道を来るよりこ のほうがショートカットされて断然早い。 林道は、ラッセル されているためかんじきを履かずに楽ちんで後を追えた。

林道と登山道が合流する少し手前で2人に追いつき、それからは一緒に行動した。 2人は登り始めたのが8時半前で、私は9時半頃だったので1時間のタイムラグがあったけど、スキーを担いでラッセルをしながらでは、距離は稼げないと思った。 登山道と林道の合流地点まで行くと、先行者のスノーシュー



林道鷲走線の分岐点まで行きそこで昼食にした。

ここからは登山道を登るので、スキーを置いてトレースを辿た。 しばらく登って急な斜面を横断する所で、先行者の60過の 夫婦が休んでいた。 2人は斜面が小さな雪崩で道が分からな いから帰ろうかと思うと言っていたので、私たちが道を見つけ るから後から来たらと伝えて先に進んだ。

窪みを上り詰めて鞍部に出たが、左の山より右の山が高く見 えたのでそちらに行ったが、しばらく登ると鷲走ヶ岳を回って 小松に向かう林道が見えたので間違い気付き登り直した。 今日は、快晴で展望が効き白山を始め犀奥の山々が綺麗に見 えた。 〈鷲走ヶ岳からの白山〉



〈鷲走ヶ岳にて〉



夫婦も後からついてきて途中で帰らなくて良かったと感謝された。 帰りは山下君達はスキーで林道を滑って行ったが、小 倉谷に下りる所でスキーを担ぐ準備をしているときに追いついた。 そこから下るも、雪が少なくてグリップが効かず滑って 難儀して下りた。

コースタイム	登り	下り
東二口第2隧道前	9:30	16:50
林道東二口線	9:58	16:22
林道合流点	11:00	15:43
林道分岐点	11:10	15:37
	11:30	17
鷲走ヶ岳	14:09	14:30

[文・写真:織田]

5. 三童子山(492.8m)~三童子スカイライン~鞍掛山(477.71m)周回

日時 : 令和2年1月25日(水) 晴れ

コース : 石の里水と緑のふれあい公園を起点で周回

メンバー: 堀 1名

鞍掛山にはよく登るが三童子山まで足を伸ばしたことが無い。三童子山の山名の由来は、平安時代に遡り、山頂近くの黒岩に三人の修行僧(童子)が住んでいたという言い伝えから来ているそうである(諸説有り)。 山頂には一向一揆の時の山城跡もあるとのことで以前から気になっていた。 今日は 1 月と言うのに雪も無く、天気も晴れ、歴史を思いながらのトレッキングと言いたいところだが、実は遠出することを考えていたが出発が遅くなってしまい、近くで遅い時間からでもソコソコのトレーニングになるところはと三童子山~三童子スカイライン~鞍掛山の周回コースとした。 お天道様が高く上がってしまっている中、滝ケ原町に、いつもの様に右折し鞍掛大橋を渡ってから気が付く、今日は周回なので石の里水と緑のふれあい公園がスタートだ、すぐに戻り公園の駐車場に。 あれっ、以外に少ない 1 台しか停まっていない、と思いながら早々に準備、もう 10 時前だ、三童子山の登山口までの林道を歩き出す。

すると林道の途中の少し広めの場所に路駐が、登山口間近まで何台も停められていた。 だが、この林道は途中から悪く車高の低い車は要注意である。 歩き始めは肌寒くソフトシェルを着ていたが林道歩きで汗ばむくらいになり登山口で脱ぎ、三童子山への急登を登り出す。

汗だくになりながらハイペースで登る、ここに三人の修行僧 (童子)が住んでいたのかと思いつつ黒岩を通過、黒岩から頂上は近かった。 頂上には先客が休憩中、自分と同じく周回するとのこと、林道途中に駐車したとのこと、等を会話し先に出発された、自分は行動食でエネルギー補給休憩。



遠くに鞍掛山が見える、思っていたよりも意外に遠いなと思いつつ三童子スカイラインへ、急登の三童子山からはせっかく登った標高を急降下、三童子スカイラインと言うもののいくつものアップダウンが連続する。 途中、主谷登山道との合流地点で下っていく人が見えた、あれっ、先ほど三童子山でお話しした人だ、周回と言われていたが、林道途中に駐車とのことだったので駐車地点に近い主谷登山道を下山されたようだ。 三童子山迄で一人しか会っていない、と言うことはここからは自



分が一人か、暖冬で熊が冬眠せず活動しているとのニュースもあったので怖々と進む。 466mのピークを過ぎ下っていると前方から二人パーティーが登ってこられた。 人に会いほっとしたがその後も避難小屋までは人には会わなかった、もちろん熊にも。

三童子スカイラインも終盤、ようやく鞍掛山が目前に見える 展望岩に、せっかくなので後山にも寄る。



避難小屋前には多くのパーティーが昼食中、小屋の中でも賑やかにお食事中、鞍掛山の頂上でも焼肉をしているパーティーが、自分は焼肉の匂いの中で行動食を食べて行者岩コースから下山にかかる。 昨年の台風の影響だろうか、途中、登山道を補修した様、トラロープも多く設置されていた。

中ノ谷、西ノ谷登山口に下山し三童子山〜三童子スカイライン〜鞍掛山のトレッキングは終了、と言いたいところであるが 実はここからが周回コースの核心部、スタート地点の石の里水 と緑のふれあい公園に戻らなくてはならない。

アスファルトの車道をトボトボと歩く、途中に TAKIGAHARA CAFÉ と言うお洒落なカフェがあるが山の格好では入りづらい、後ろ髪を引かれつつもカフェをパスして公園に戻る。

短時間のトレッキングであったが三童子山〜三童子スカイライン〜鞍掛山の周回は良いトレーニングになった。

コースタイム

駐車場登山口三童子山鞍掛山下山口駐車場9:309:5010:2012:3013:4014:10

[文・写真:堀]

Ⅱ. 行事等 報告

1. 月次集会 三水会

日時 : 令和2年1月15日(水) 場所 : 金沢総合体育館第三会議室

参加者 : 津田、樽矢、堀、大幡、埴崎、織田、村上、東野 8名

会務報告

① 5 支部スキー集会の参加者状況と旧中宮スキー場の積雪状況の報告 雪がほとんどないが、今後の積雪を期待して開催するとする 役務分担と事前準備、当日準備のスケジュール等を調整と役務分担のお願い

その他

- ① 会員の退会などの報告
- ② 来期の山行計画などの事業計画作成
- ③ 本年度の会計報告と事業報告作成

*事業報告は2月末までに報告した

日時 : 令和2年2月19日(水) 場所 : 金沢総合体育館第三会議室

参加者 : 樽矢 藤江 堀 3名

・五支部スキーについて、会計処理の確認、精算を行った。

・参加者が少なく早々に解散とした。

日時 : 令和 2 年 3 月 18 日 (水) 場所 : 金沢総合体育館第三会議室 **中止** 金沢市より、

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための金沢市スポーツ施設の対応について

- 1、利用休止
 - ・金沢市総合体育館 休止期間 令和2年2月29日(土)~3月15日(日)
 - 2、スポーツ大会、イベント、事業等による施設利用の自粛について

2月29日(土)~3月31日(火)の期間に予定されているイベントや事業等の

主催者様におかれましては、現在の感染拡大の状況をご理解いただき、開催の自粛をお願いいたします。

との要請が出されましたので、3月18日(水曜)の三水会+役員会はやむなく中止としました。

日時 : 令和2年3月29日(日) 場所 : 金沢総合体育館第三会議室

参加者 : 樽矢 池本 津田 中川 村上 大幡 田中 堀 8名

総会前の役員会として参集

- ・総会提出議案の検討、総会資料の確認
- ・新型コロナウイルスによりイベント自粛であるが総会は開催とする。

Ⅲ. 今後の予定

1. 行事予定 【4月4日の総会にて正式決定となります、変更になる可能性があります】

支部の行事予定に係わらす、山行について三水会などでリクエスト・提案お願いします。 令和 2 年度は他のイベントと月例山行を共催とする予定です。

実施予定日 (行程及び予備日)	事業 区分	内容・目的	山域・場所	担当
4月4日(土)	共益	令和 2 年度定期総会	金沢市総合体育館	事務局
4月11日(土)、 (予備日:12日(日))	共益	オンソリ山【月例山行】 カタクリ自然観察会	白山瀬波キャンプ場	自然保護委員 埴崎、事務局
4月11日(土)、12日(日)	本部・ 他支部事業	小島烏水祭 中止	香川県高松市	本部・四国支部
4月26日(日)	公益	久弥祭・富士写ヶ岳登山【月例山行】	枯淵駐車場特設会場	山行委員·事務局
5月16日(土)~ 17日(日)	本部・ 他支部事業	全国支部懇談会 コース A: 双石山登山、B: 日南海岸散策、C: 自由行動	宮崎県宮崎市	宮崎支部
5月30日(土) (予)31日(日)	公益	火燈古道・不惑新道整備【月例山行】	登山口〜火燈山〜富士写ケ岳	登山道整備委員 大幡
6月6日(土)	本部・ 他支部事業	ウェストン祭	上高地・ウェストン碑前	本部・信濃支部
6月7日(土) (予)14日(日)	公益	チブリ尾根登山道整備 石川労山交流【月例山行】	市ノ瀬、チブリ尾根	事務局
6月27日(土) (予)28日(日)	公益	杉峠道登山道整備【月例山行】	三ツ谷~杉峠	登山道整備委員 織田
7月4日(土)~ 5日(日)	本部・ 他支部事業	自然保護全国集会	吉野・金峯山寺聚法殿	本部 自然保護委員会
7月18日(土)	公益	白山親子登山座学研修【月例山行】	キゴ山、ふれあいの里	山行委員·事務局
8月1日(土)~ 2日(日)	公益	白山親子登山教室【月例山行】	白山 (砂防新道・室堂・エコー)	山行委員 事務局
9月6日(土)~ (予)13日(日)	公益	チブリ尾根登山道整備 石川労山交流【月例山行】	市ノ瀬、チブリ尾根	事務局
9月26日(土)~27日(月)	本部	支部合同会議(支部長・事務局長)	主婦会館プラザエフ	支部長・事務局
10 月	共益	【月例山行】	山域未定 登山技術研修会と兼ねる	山行委員 事務局
11月7日(土)~ 8日(日)	共益	五支部合同懇親山行(石川支部主催) 【月例山行】、【山祭り】共催	吉野谷セミナーハウス オンソリ山	山行委員 事務局
12月5日(土)	本部	支部長会議・年次晩餐会	本部(12月第一土曜日)	本部・事務局
12 月	共益	鳴谷山【月例山行】	百百合谷登山口より往復 雪山技術研修会と兼ねる	山行委員 事務局
2021年1月	共益	取立山【月例山行】	国道脇駐車場より往復 雪山技術研修会と兼ねる	山行委員 事務局
2月	共益	奥獅子吼山【月例山行】	鶴来より往復 雪山技術研修会と兼ねる	山行委員 事務局
3月	共益	白山開山 泰澄大師ゆかりの越前五山 越知山(613m)、文殊山(365m)、 吉野ヶ岳(蔵王山)(547m)、日野山(795m) 白山(2702m)【月例山行】	白山(2702m)を除き、 4 山を散策 場所により一日 2 座も可能	山行委員 事務局
2月	共益	5 支部スキー山行(福井支部主催)	未定	福井支部
4/15,5/20,6/17, 7/15,8/19,9/16, 10/21,11/18,12/16, 1/20,2/17,3/17	共益	月例集会 三水会	金沢総合体育館	事務局
2, 20,2, 11,0, 11	共益	支部報発行(年4回)	季刊 (6月9月12月3月)	事務局 堀 兼務
	共益	役員会議	必要の都度	事務局

2. 令和 2 年度総会 「平成 31 年度(令和元年)報告、令和 2 年度計画」

・4月4日(土) 14:00~15:00 場所 : 金沢市総合体育館 第1会議室 令和2年度総会「平成31年度(令和元年)報告、令和2年度計画」を開催します。 会場は16時まで使えますので、総会後はご歓談ください。

3. 月次集会 三水会

金沢市総合体育館 第3会議室にて水曜日 19:00~21:00 を予定しています、変更がある場合のみ連絡します。 4月15日、5月20日、6月17日、7月15日、8月19日、9月16日、10月21日、11月18日、12月16日、 2021年1月20日、2月17日、3月17日

Ⅳ. その他 案内・連絡

1. 登山届け、計画の提出について

石川支部では登山届けとして「コンパス」の利用を推奨しています。

PC、スマートフォンの方は出来るだけ「コンパス」を利用お願いします。

必要に応じて紙等の従来の方法での登山計画も作成・提出をお願いします。

- 一部の登山口では登山計画書のチェックが行われています。
- ・石川支部の緊急連絡先アドレス : keikaku@jac-isk.com
- ・公益社団法人日本山岳ガイド協会 コンパス : http://www.mt-compass.com/index.php

今日、天気が良いからちょっと里山へ、の場合も必ず登山届けを提出する様にお願いします。

どこに行くか分からないと探しようがありませんので、必ず登山届けを提出する様お願いします。

・コンパスでの登山届けと同時に、計画書をPDFに印刷してデータとしたものを支部の方に提出をお願いします。 また、紙に印刷した登山届けは登山口での提出と登山中の携行をお願いします。

2. 山岳保険の確認・連絡

支部の皆様へ、現在加入されている山岳保険の確認をお願いします。

登山計画の届けでは保険の加入について記入が必要です。 支部の方でも確認したいので加入されている保険について連絡をお願いします。 **登山される場合は必ず山岳保険に加入お願いします。**

傷害保険やボランティア保険等はヘリコプター費用、捜索・救助費用が支払われません。

不幸にして行方不明や亡くなられた場合は所在が確認できるまで(御遺体が発見されるまで)生命保険や傷害保険は支払われない、公的な手続き(相続や名義変更等)も出来ない、保険だけで無く本人名義の銀行口座も凍結される場合がある等、御家族にも多大な心労をかけることになります。

3. ココヘリについて

支部でもココヘリを利用される方が増えてきています。

ココヘリはもしも遭難、捜索が必要になった場合に場所の特定を容易にし、発見までの時間を早くする為の

システムです。 ココヘリの電波は最大 16km の探知範囲となっていますが、沢の中や状況によっては探知距離は短くなります。 又、人体の水分の影響を受けやすいとされています。 その為、ココヘリを身につけていても**登山計画書・登山届が出されていないと捜索範囲を絞れません、どこに行くか分からないと探しようがありませんので、必ず登山計画書・登山届けを提出しセットでココヘリの装備をお願いします。** ココヘリ https://hitococo.com/cocoheli/

4. 連絡への返信について

支部からの連絡や会員同士での連絡について、返信を求められている連絡については必ず返信をお願いします。 期日のある連絡については受取り次第、速やかに返信をお願いします。 行事などへの参加・不参加の確認連絡については 不参加なので返信しない、は不参加との意思確認が出来ないので、不参加の場合でも必ず不参加との連絡をお願いします。

5. メールアドレスについて

メールアドレスにつきまして、できましたら**PCメール**にて登録お願いします。

携帯だと添付ファイルが容量オーバーで届きません。 支部報等、出来るだけデータでお送りしたいと思います。 PC メールについても受信可能なデータ量の確認もお願いします。 支部報については 5Mbyte 程度を目処に編集しています。 又、メールが届かない方(エラーになります)もいらっしゃいますので再度メールアドレスの確認をお願いします。

最近、メール連絡が来ない、等ありましたら事務局の方まで連絡をお願いします。

6. 電話番号・FAX番号の再確認のお願い

皆様から頂いています電話番号・FAX 番号について再度確認をお願いします。

郵送しか届かない、電話・FAX で連絡が来ない方、いらっしゃいましたら会の方に連絡頂いている電話番号・FAX 番号に ついて確認をして頂き事務局の方に連絡お願いします。

※メールにて連絡が取れる方は基本的に郵送・電話(緊急時の電話連絡を除く)・FAX での連絡は行っていません。

7. 山行報告について

皆様から素晴らしい山行の報告を頂いていますが、ホームページ及び支部報への記載の都合上、報告・レポートはワードもしく はテキストファイルで、写真については印刷用紙(A4)の都合上、4:3 の jpeg データで頂けると助かります。 又、写真について は各コマのコメントを添えて頂けると助かります。 編集者が同行していない山行では場所や景色について分からない場合が多く、 編集作業中に確認のために時間がかかっています、ご協力をお願いします。

8. 入会

· 紋谷 友幸 (16348) 富士写ヶ岳方位盤の設置等尽力されており、今般入会されました。

9. 退会

- ・辨谷 智菜美(16348) 精力的に活躍されていましたが、2月末日をもって退会されました。
- ・中越 和男(会友)

10. 訃報

石川支部にて御活躍されました宮竹重里氏が逝去されましたのでご報告いたします。

宮竹 重里 様(10772) 95歳 10月28日 逝去されました。 通夜、葬儀共に終了

編集後記

昨年末から異常な暖冬で里山には雪が積もらず、深山も雪解けが 早く、春を通り越して既に初夏の気配を感じ初めています。

例年であれば残雪期の固い雪を踏みしめての登山になりますが、 本年は山の様相がかなり違っています。

入山される場合は十分に山域・ルートの状況を調査し、 気をつけて登山される様に心掛けをお願いします。

又、世界的に新型コロナが拡大しており、当会も3月の三水会を 中止などの影響が出ています。

会員の皆様におかれましては手洗い・うがい・エチケットマスク等 感染に注意され健康にご留意下さい。

日本山岳会 石川支部報

発行日 2020年(令和2年)3月31日

発行者 公益社団法人 日本山岳会

支部長 樽矢 導章

TEL/FAX: 076-237-5769

編集者 支部報担当 堀 正春

(事務局) TEL/FAX: 076-248-0175

E-mail isk@jac.or.jp

HP https://jac-isk.com/index.html